

「周りの人への感謝」

育成調教技術者養成研修 第32期生 中元 大貴

私が初めてBTC研修を知ったのは、大学時代に将来どここの企業に就職しようかと迷っているときに、たまたま見つけたBOKUJOBホームページ内のBTC研修のページでした。

元来競馬が好きな私は、将来好きなことを仕事にしたいと考えており、ホームページを見て興味が湧いてきたので、東京競馬場で開催されたBOKUJOBフェアに直ちに参加しました。さらに、そこで紹介してもらった体験入学会に参加して、私も馬に乗れるようになりたいと感じ、本格的に受験してみようと考えようになりました。その後、幸運にも合格することが出来て、本研修に入講することが出来ました。

研修と同時に初めての寮生活も始まりました。普段、寮では朝、昼、夕と研修の合間に寮母さんがご飯を作ってくれます。そのご飯がとてもおいしくて、一日の作業で疲れ果てた体を癒してくれます。毎日、当たり前のように私たち研修生のことを考えて、栄養バランスのとれたおいしいご飯を提供してくださる寮母さんには、本当に感謝しています。

夕方の作業や夜飼いの後の自由時間は、その日の騎乗の反省を踏まえてシミュレーターに乗ったり、研修日誌を書いたり、食堂で雑談したり、風呂に入ってすぐに寝てしまったりと、人によって様々ですが、皆自分にあったリズムで生活しています。そして、休みの日は一日中寝たり、外出したり、研修生のほとんどが競馬好きなので、競馬を見て盛り上がりたりしています。

研修が始まる直前は、地元の広島とは全く違った環境の北海道という土地での暮らしや、慣れない集団での寮生活をやっていけるか不安を感じていました。これまで不規則な生活を送っていた私にとって、早寝早起きの規則正しい生活に慣れるのに時間が掛かりました。元々朝が得意な方ではないので、朝5時に起床して、そこから重い体を動かしてスキップアウト（馬房の清掃）や餌やりなどの厩舎作業を行うのが辛く、騎乗も上手いかわないことが多くありました。また、集団で風呂に入ったり、ご飯を食

べたりと、どこにいても常に他人がいるという寮生活が苦痛だと感じ、1年間やっていけるのか不安でした。

しかし、日々の研修や、山菜取りや登山などの課外研修で交流を深め、研修生一人一人の性格がわかってきて、徐々に他の研修生と打ち解け、夕食や風呂でその日の研修の感想を言い合ったりして、同じ目標に向かって頑張っているのだと感じたとき、周りの研修生が他人から仲間に変わっていききました。普段、騎乗や作業で上手く行かないことを共感できる仲間がいるというのは心の支えになります。そんな仲間と日々を過ごすにつれて序盤の不安も徐々に払拭され、寮生活も良いものだと思い始めるようになりました。

これまでの研修で学んだことは、周りの人の大切さです。この研修も私一人では成り立ちません。騎乗などを指導してくださる教官、寮では寮監や寮母さん、課外研修先の方々、そして研修を共にする仲間の支えがあってこそ成り立つのです。このような恵まれた環境で研修を出来ることをうれしく思います。まだまだ研修は続きますが、これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、充実した1年になるよう日々精進していきたいと思っています。

